



令和3年12月24日
上菅田笹の丘小学校
学校だより1月号

東京2020
オリンピック・
パラリンピック
応援ありがとう



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標

自分大好き 仲間大好き

心かがやく上菅田笹の丘小学校



新年に向けて

校長 世古 正樹

冬至も過ぎ、今年も残すところ、あとわずかとなりました。先日、登校時に正門に立っていると、ある児童が「校長先生、これ見て。」と手の平に大事そうにのせている氷を見せてくれました。「冷たくないの?」と聞くと、「冷たいけど、教室でみんなに見せたいの。」と言って、足早に昇降口に向かっていきました。また、別の児童は「先生、これ見て。氷がとけちゃった。」と言って、濡れた手のひらを見せてくれました。季節を肌で感じ、冷たさよりも氷を大事そうにしているその姿に、朝からとても嬉しくなりました。

さて、新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株という新種が発見され、世界では再び大流行しているたくさんの国があります。一方、日本では新たな感染者が少ない状況を維持していますが、オミクロン株は今まで以上に感染力が強いと言われていいますので、油断はできません。学校においては、1月以降も引き続き十分に感染拡大防止対策を徹底し、教育活動を進めて参ります。ご家庭におきましても、冬季休業中もうがい・手洗い、十分な睡眠等、感染防止対策をどうぞよろしく願いいたします。

先日、元宇宙飛行士の山崎直子さんのご講演を聞く機会がありました。山崎さんは、向井千秋さんに次いで日本人女性2人目の宇宙飛行士で、2010年4月にスペースシャトルディスカバリーで宇宙飛行をしています。子どもの頃から宇宙に憧れ、夢に向かって諦めずに努力を重ね、遂には夢を実現して宇宙を体験することができた、というお話でした。山崎さんのお話の中で、特に心に残った言葉が2つあります。

○昨日の「夢」は、今日の「希望」であり、明日への「現実」である

「人間は、今まではあり得ないこと、夢の世界のできごとと思っていたことも、努力を重ね、科学を歩かせ、それをかなえられる希望に変え、ついには現実としてきた。例えば、空を飛ぶことや宇宙旅行のように。夢をあきらめてはいけない。夢を追い続けることが大切である。」

○Wonderful = WONDER + FULL

ワンダフル	ワンダー	フル
素晴らしい	未知	たくさん

「知っていることがたくさんあることはすごいことだが、それ以上に、知らないこと（未知）がたくさんあることは素晴らしい。未知なことがたくさんあることで、可能性が無限に広がっていく。」

この言葉を今日の今年最後の朝会で子どもたちに話しました。これからの時代は、今の子どもたちが切り拓いていく時代です。今までの当たり前や常識にとらわれることなく、視点を変え多様な捉え方で物事を見つめ直し、新しいことにどんどん挑戦して欲しいです。2022年、自分の可能性を大いに広げ、自分の夢を追い続けていって欲しいと思います。

今年一年、保護者の皆様・地域の皆様には、学習活動、健康安全、行事等、様々な場面においてご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

来年も、教職員一同、教育活動の一層の充実に向けて努力して参ります。来年も引き続き本校の教育活動にご理解、ご協力をどうぞよろしく願いいたします。